

おおじ 大地しんがきた

1995 (平成7) 年1月17日午前5時46分、淡路島をしんげんに、大地しんが起きました。当時、だれもけいけんしたことのないような大きなゆれが起き、日本ではじめてしん度7がてきようされました。

地しんのゆれと広がり方

地しんが起きると地面がたてや横に大きくゆれます。ゆれ方の強さを「しん度」といい、0から7までの数字で表します。

地しんのゆれは、しんげん地からまわりに広がっていきます。



(2006年5月19日阪神・淡路大震災について【確定報】消防庁)



↓ 地すべり (西宮市仁川百合野町)



神戸市の震度計は震度6を記録したが、気象庁が被害状況の現地調査を行い、一部の地域を震度7と認定した。(阪神・淡路大震災の概要 内閣府)

しん度とゆれ



人がゆれを感じない。

屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。

おき物がたおれることがある。



たなの食きが落ちたり、こ定していない家具がたおれたりする。

こ定していない家具のほとんどがい動し、たおれるものが増える。立っていることがこんなんになる。



たいしんせいのひくいたて物は、かたむくものやたおれるものが増える。